

藍と青 岸和田YEG

だんじりの伝統を守り まちを駆け抜ける情熱で 革新を続けるワケ

かつて城下町として栄え、繊維産業で発展してきた大阪府岸和田市。勇壮な「だんじり祭」で知られ、歴史と伝統が息づく。近年は金属、機械器具、レンス工業のほか、農業や水産業も盛んである。この地域の活性化に奮闘しているのは、岸和田商工会議所青年部だ。未来を担う青年経済人たちの「だんじり愛」郷土愛と、彼らの活動を支える岸和田商工会議所取材した。

まちに新しい風を吹き込む 商工会議所の「実働部隊」

岸和田商工会議所（以下、親会）の中井秀樹会頭は、岸和田商工会議



郷土愛で結び付く岸和田YEG

所青年部（以下、YEG）を「商工会議所の実働部隊」と捉えている。「商工会議所も年を重ねると、どうしても慎重になりがちです。時代に即した感性を持つYEGには、現場を駆け回って新しい風を

吹き込んでほしい」と期待する。それに応え、積極的に地域活動にまい進するYEG。そして、「YEGがやりたいことは何でもやらせてあげたい」。そう語る中井会頭の言葉からは、YEGへの深い愛情と信頼が感じられる。この親子のような

楽しみながら学べる良い機会になったのではないのでしょうか」と、YEGの石川将之直前会長は当時を振り返る。このロボットプログラミング教室は、子どもたちにもづくりの楽しさを体験してもらっただけでなく、プログラミング的思考を育む機会を提供することを目的にしたものだ。しかし、教材の耐久性や価格の問題といった課題も浮き彫りになったという。

YEGメンバーも参加する岸和田だんじり祭は300年の歴史を誇る

そして本年度は、「岸和田商工会議所2024」として12月に開催。親会の主催ではあるが、2025年に創立40周年を迎えるYEGは、記念講演会に渋沢栄一翁の玄孫である渋沢健氏を講師に、「論語と算盤で未来を拓く」をテーマとする記念講演会を開催した。「40周年という節目の年に改めて商売の原点に立ち返り、社業の発展を通じて地域の未来を創造していくためのヒントを共有したい」という思いから、今回のテーマを設定しました」と、YEGの櫻井亮会長は語る。

信頼関係が、岸和田商工会議所全体の活性化、ひいては会員拡大の成果へとつながっているのだ。

岸和田YEGの特徴は、会員同士の強い絆である。多くのメンバーは、幼い頃から岸和田の伝統文化である「だんじり祭」に参加し、地域との強い結び付きを育んできた。「だんじり愛」郷土愛を持つ彼らは、地域貢献への意欲が旺盛で、活気あふれるまちづくりを目指している。祭りの運営などを通して培われた、チームワーク、リーダーシップ、そして責任感。これらの経験は、YEGの活動にも生かされているといえるだろう。

未来を見据えたイベントで 地域に貢献

YEGが親会の期待にこたえて積極的に取り組んでいるものの一つに、親会主催の商工会議所がある。このフェアは、地域経済の活性化を目的として毎年開催されており、YEGはこれまでにも地元で貢献するための重

そのほかにも、地域の中小企業が自社のPR広告動画を制作して最優秀賞を目指す「きしわだ動画コンテスト」や、岸和田の未来をつくる子どもたちがプログラミング開発した作品を発表する「きしわだKidsプログラムコンテスト2024」の表彰式、親子プログラミングワークショップなどを開催。近年、デジタル化が加速する中で、地域の子どもたちにもITスキルを身に付けてもらうとともに、地域企業のデジタル化を支援し、活性化につなげたいという思いが込められている。

独自性を生かし さらなる拡大を目指す

櫻井会長は、「岸和田の独自性を大切にしながら、組織の状況に合わせて適切な活動を展開していく」と抱負を述べた。具体的には、会員一人一人の個性と能力を最大限に引き出し、それぞれの得意分野を生かした地域貢献活動を展開していく方針である。また、石川直前会長は「政策提言などの新しい取り組みも検討している」と、意欲的な姿勢を示した。YEGについては「さらなる拡大と組織力強化を目指す」と櫻井会長は語る。今期の目標である会員数100人を達成し、さらなる会員同士の交流を深め、YEG活動の魅力

今年度のYEGフラッシュは、商工会議所（親会）とYEGの良好な関係をご紹介します。タイトルの「藍と青」は、渋沢栄一翁の生家の家業が藍を親、青をYEGとし、一般的にいわれる師弟のことではなく、「君子曰く、学は以て日（や）むべからず（学問は中断してはいけない。努力すればするほど精練されて優れたものになる）」という本来の意味に立って取材します。



前列左から櫻井会長、中井会頭



地域に貢献する企画会議に熱がこもる

要な活動として、イベントやワークショップなどを行ってきた。昨年度は「岸和田デジタルフェア2023」として開催され、小学生向けのロボットプログラミング教室やコンテストなどを実施した。「子どもたちが目を輝かせてコンピューターに触れ、プログラミングに挑戦する姿は本当に印象的でした。

共有すること、地域貢献活動への参加を促進してYEGの活動を広く知ってもらうこと、女性や若手経営者など多様な人材の加入なども進めていく。伝統を守りながら、革新を続ける岸和田YEG。その活動は、地域経済の活性化に大きく貢献している。

編集後記 猪原 英和 (熊谷YEG) YEGフラッシュ「藍と青」も残すところ3回となりました。取材を通じて感じた岸和田YEGと親会との関係性は、「仲が良い」というよりも、「自然体」という言葉の方がしっくりくるものでした。公私の隔てなく古くから地域の仲間としての結び付きを背景とする連帯感が、結果として岸和田YEGの活動にも生かされていると感じます。取材時は、岸和田YEGの歴代会長など多くの方々にもご協力をいただきました。ありがとうございました!

岸和田商工会議所 会頭・中井秀樹 会員数：1930 創立：1947年 住所：大阪府岸和田市別所町3-13-26 HPIはこちら

岸和田YEG 会長・櫻井亮 会員数：100 創立：1985年 スローガン：「ヒトヒトヒトヒト 本業を通じて社会に貢献する」 HPIはこちら